





窯を持つ夢

発破師の夢は自分の窯と焼きものの  
窓

建設機械の発達により丹波立杭焼に出会つた事がきっかけで陶器に興味を持つようになりました。又、多くの窯元をたずね土と焼き物について見聞きに務めました。今、茶碗の原型をつくりました。それから仕事の量も少なくなつて来ました。それならと今の左官業に戻り大

「本焼」をします。  
将来は自分の「窯」  
を持つことが夢です。

向けて努力を積み上げ  
たいと思います。

私は今還暦六十一歳、左官をしています。  
二十代の頃大阪で左官の道に入り十年、そ

手びねりで作ってい  
ます。いくらか数か揃  
えてから「煮焼」をし  
て修正を行ないます。  
夢を持ち続ける事こそ  
生き甲斐があるのだと  
言う事を最近つくづく  
思うようになりました。

むかし通つていた頃、  
船頭や漁師に「ここら  
はよう、こちらの吹くと  
きは、なんちやつれん  
で出直してこい。」と  
よく言われていまし  
た。

もあり例年  
よりも多数  
の方が相談  
に来ていた  
様だ。

長い待ち時間が  
あつた時も有つた  
が下がる思いだ。

めている皆さんに頭  
が、こま  
めに帳簿  
を付けて  
節税に努



す。ちよつと風がありま

案の定今日もさんざん  
り歩くことでの自分のポ  
イントを発見するもの  
でした。

蓄積です。

告相談が行  
われた。

節税に努めている

新春号その三

岩尾高男

今年も2月28日・が、本部相談員の方  
3月1日・6日・7に3時間近くも熱心

# 確定申告相談

長い待ち時間が  
あつた時も有つた  
が下がる思いだ。



